

◎ 教科書を見ながら、()に言葉や数字を書きましょう。

顕微鏡の使い方①

教科書P. 14~17

【学習日: / 】

○ 種類と各部の名称を書きこもう。



()式顕微鏡



()式顕微鏡

* 鏡筒上下式顕微鏡やステージ上下式顕微鏡は、()ものを、拡大して観察するのに適している。

* 顕微鏡の倍率 = ()の倍率 × ()の倍率

接眼レンズに書かれている10×、15×などと、対物レンズの数字(10、40など)をかけ合わせたものが倍率である。

例) 接眼レンズが10×、対物レンズが40のとき、倍率は()倍

注意 顕微鏡は()ところで使う。

Memo

◎ 教科書を見ながら、()に言葉や数字を書きましょう。

顕微鏡の使い方②

教科書P. 14～17

【学習日: / 】

○ 基本的な使い方

① ()レンズをいちばん()のものにする。

* 低倍率の方が視野が()ため、観察したいものを探しやすい。

② ()レンズをのぞきながら、()を調節して、全体が均一に明るく見えるようにする。

* 光源がライトの場合はコンセントにプラグを差し、電源を入れる。

③ 見たいものがレンズの()に来るように、プレパラートを()ののせて()で止める。

④ ()から見ながら()を回し、プレパラートと対物レンズをできるだけ()る。

* 真横から見るのは、プレパラートと対物レンズが()のをさけるため。

⑤ 接眼レンズをのぞいて、調節ねじを④と反対に少しずつ回し、プレパラートと対物レンズを()ながらピントを合わせる。

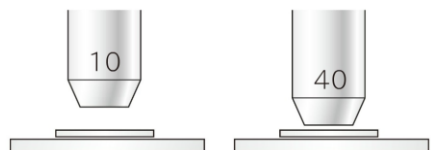
⑥ ()を回して、観察したいものが最もはっきり見えるように調節し、視野の()にくるようにする。

○ 高倍率にするときには……

⑦ 観察したいものを低倍率の状態で見たい視野の()に置き、ピントを合わせる。

⑧ ()を回して、高倍率の対物レンズにする。

* 対物レンズの倍率が高くなると、レンズとプレパラートの距離が()なる。



注意 対物レンズとプレパラートが()ようにする。

⑨ ()を回して、観察したいものが最もはっきり見えるように調節する。

* 倍率が高くなると、視野が()なり、明るさが()なる。

Memo

◎ 教科書を見ながら、()に言葉や数字を書きましょう。

顕微鏡の使い方③

教科書P. 14~17

【学習日: / 】

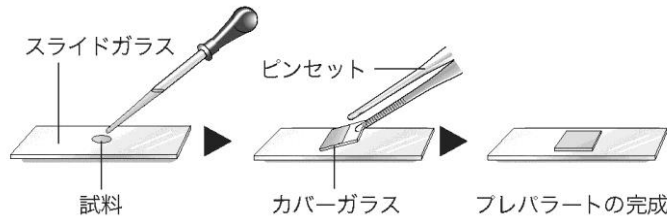
○ プレパラートのつくり方

① ()に観察するものをのせる。

* 水分が少ないときは、水を()滴たらず。

② ()をかける。

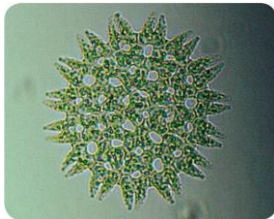
* ()が入らないように、()と下げ、ピンセットを引く。



○ こんなときは……

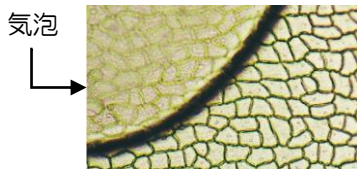
・視野の明るさが不均一のとき

→ ()を動かして、
視野全体が明るく見える
ようにする。



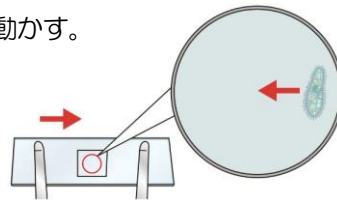
・気泡が入って見にくいとき

→ ()部分を
観察する。あるいは、プレ
パラートをつくり直す。



・観察したいものが視野のすみにあるとき

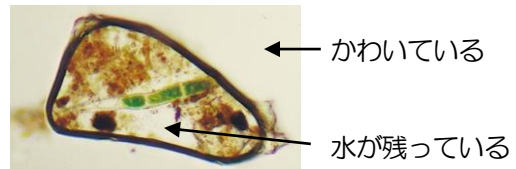
→ 観察したいものを視野の左に動かした
いときは、プレパラートを()
に動かす。



* 顕微鏡でものを見ると、見える像は
()になる。

・プレパラートがかわいたとき

→ カバーガラスとスライドガラスのすき
まから、()で静かに
()や染色液を入れる。



Memo